

## 第2回 金沢駅西広場再整備デザイン検討会 議事要旨

日時：平成21年11月6日 14:00~15:30

場所：金沢市役所4階兼六会議室

### 【出席委員】（印：座長）

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ○ 金沢工業大学教授  | 水野 一郎     |
| 金沢美術工芸大学准教授 | 鏑 隆弘      |
| 石川県建築士会評議員  | 山田 文代     |
| 金城大学短期大学部教授 | 黒川 威人（欠席） |

### 【事務局】

金沢市 都市整備局都市計画課

敬称略

## 議 事 要 旨

### 【開会】

### 【都市整備局長挨拶】

### 【座長挨拶】

### 【事務局資料説明】

#### 資料に関する質疑

- （座長） 前回の検討会に提示されたものに、検討会の意見を反映してグランドデザインを提示しているが、これについてはどうか。
- （委員） 基本的な考え方はこれで良いのではないかと。軸線に沿って左右非対称となっているのは人工的でなく良いと思う。奥に向かうにつれて植栽の見え方が違うのも自然に近いといえる。
- （委員） 広場や水景施設なども駅東広場との対比で異なっており、良いと思われる。
- （委員） グランドデザインとしては良いと思う。植栽と同様にバリアフリーについても金沢らしい、最先端のデザインを取り入れてはどうか。資料にある中部国際はわざとらしさがなく自然であり、ぱっとみた感じはどこがバリアフリー対応なのか分からないが、しっかりと考え方を聞くとなるほどと思わせる部分がある。
- （座長） バリアフリーについても新幹線駅で競争になっている。バリアフリーを意識しすぎるとわざとらしくなってしまう。
- （委員） その通りである。人的な対応と目立たないが使いやすいデザインを具現化していく必要がある。
- （座長） バリアフリーについては次の段階までに詰めて確定していく。

## メインストリートのデザイン

- (座長) メインストリートの並木は左右非対称で、向って左はマキ、右はケヤキというデザインであるが、どうか。
- (委員) 常緑はシラカシという意見もあるが、マキの方が樹種として良い。マキは自然に放っておくとCGにあったような円錐形になる。一方、ケヤキは逆円錐で幾何学的な対比としても面白い。
- (委員) 資料のマキは造園の仕立物で人為的な形状である。マキは自然樹形が良い。
- (座長) 雪吊りなどは可能か？
- (委員) マキはあまりみない。

## ストライプの植栽帯

- (座長) 植栽についてはどうか。資料には候補となる樹種も幾つか挙げられている。
- (委員) 地のものを取り入れてはどうか。テイカカズラ、ドウダンツツジ、タニウツギ、コアジサイなどが地元である。地のものは地味だが、ストライプ形状であれば見せ方として面白いのではないか。常緑ではヤブコウジは白い花、赤い実を付け、面的に植えると綺麗である。
- (座長) このストライプの植栽を指して「花壇」という表現があるが、花だけではないので「植栽帯」といった表現が妥当である。
- (委員) 下のものは多年草でも良い。常緑樹は春の新緑の頃に赤い新芽が出て綺麗である。
- (座長) 雪国の春という事で、ユキヤナギを植えても良いと思う。ススキなどを駅前に植える例はあまりなく、他にないイメージを与えられるのでは。
- (委員) 駅前にはない。ボリューム感が出て良いかもしれない。

## 水景施設

- (座長) 駅東はリファーレ前も含めて用水がテーマとなっている。駅西地域は元々沼地であったという背景を踏まえてハスやスイレンを入れ込んでいる。四角いデザインは田をイメージさせる。スイレンは年中綺麗であるが、ハスは秋は寂しい印象を与えるがどうか。
- (委員) それも自然で良いと思う。
- (座長) 水景施設が四角で幾何学的なデザインであるが、もっと有機的な形も考えられるのではないか。
- (委員) 日当たりの問題とどう歩かせるかに関連してくる。
- (委員) 日陰の問題はあるか。
- (委員) この形なら問題はない。

## 竹林

- (座長) 竹林は最近建築でも取り入れられていて、東京、ニューヨークでもおしゃれな素材、和の素材として使われている。最近は都市的な印象も与える。
- (委員) 金沢の山でも見られる素材である。まちなかに人為的にあるというのも面白いかもしれない。自然を感じさせる広場の中にアクセントとしてある。
- (委員) 水景施設とも関連するが、背景がタクシー乗り場というのはどうか。竹で囲うという案も考えられる。竹であれば向こう側も見えし、行きたい方向が隠される事もないのでは。

## 広岡一丁目広場

- (座長) 広場を彫刻の広場として、パブリックアート空間としても活用する。蓮田先生のもニュメントもあるし、彫刻をアクセントとして置いても面白い。
- (委員) 何かを置けるようになっている方が良い。台を置かずに、そのまま緑が広がっている方が使いやすいのではないか。
- (委員) ゲートの案もあるようだが、ゲートとキャノピーと彫刻の素材やデザインがバラバラにならないよう留意する必要がある。
- (委員) 玉泉院丸の石垣は三色であり、窪の黒石が入手できればそれをここで再現しても面白い。
- (事務局) 調べてみたいが、青戸室や赤戸室はあるが、黒は難しいかもしれない。
- (座長) 東広場はイベント等で多くの人が集まる。110mの奥行きの中で人が集まる場所が必要であり、地元の人でも使える広場にしなければならない。キャノピーについてはコンコース前のものと同じデザインが良いのでは。
- (委員) そう思われる。

## サイン計画

- (委員) バスロータリーが馬蹄形になっているので、サイン等をしっかりして利用者の不便のないようにしなければならない。
- (委員) 誘導サインが大事である。中部国際空港では立った高さにサインがあり、迷わず行けるようになっている。
- (座長) もっと細かい検討が必要であろう。仙台、京都などに行ってもどこへ行けば良いか分からない。駅東広場でもガラスの衝立を追加したが、サインは風除けを兼ねるようにしてはどうか。サイン計画は広場だけではなく、駅も含めた検討が必要である。
- (事務局) 市の別の部局で駅及び駅前広場のサインについて検討しており、整合を取る。

## シェルター

- (座長) シェルターについてはどうか。
- (委員) 雪対策はどのようになっているか。
- (事務局) 車道部は全て消雪を入れ、歩道のシェルター下は無散水を導入する。

## 地下道

- (座長) 地下道については、駅から降りてパークビル前までに上り下りできないので、地下空間は自然採光と緑化でという提案だったが、幾つか構造的な懸案があるとの事である。
- (事務局) 160mほどの区間があるなかで、避難階段をどうするか、地下道の躯体の問題等現在検討中であり、次回検討会までに具体的な内容について個別に相談させて頂きたい。

## 素材

- (委員) グランドデザインが決まって、後は素材も含めた詳細な検討になるが、材料はコストを計算して決めておく必要がある。舗装などにも石を使う計画に見えるが、この地域は色の強い石を好む傾向にある。彩度の高い石をアクセントとして加えてはどうか。コスト的に高ければ焼き物といった素材も考えられる。
- (座長) 駅東はANAやJALも含めてアカミカゲを採用している。デザインを検討しているが、コスト計算によって材質が決まる可能性もあるという事を認識しておかなければならない。
- (委員) バリアフリーデザインについて、駅東から駅西までの市としての統一的な考え方はあるか。
- (事務局) 基本的には輝度比が関わってくるので、黄色を原則とする色調は辞めようと思っている。駅西広場の地上と地下をどうするかはまだ決めておらず、今後協会などに相談し検討していきたい。
- (委員) せっかくデザインを決めていって最後の最後でバリアフリーへの対応のためにひっくり返るといった事がないように、早目に関係する団体への相談を進めた方が良い。
- (座長) サインとバリアフリーへの対応については、デザインと同時並行で、統一的に考え早目に取り掛かる事としたい。

その他

- (座 長) 交番やバス案内所は設置するのか。
- (事務局) 現状では設置を予定していない。観光バスのあり方(運用法)については今後有料・無料も含めて検討していく。
- (委 員) 観光バスについては、待機時のアイドリング・ストップの推奨についても検討して欲しい。タクシーについても指導できれば良いが・・・。
- (委 員) 雨水排水の処理は、なるべく車道側で確保するように留意して欲しい。
- (座 長) 夜間照明も含めて今後ディテールを考えていく必要がある。高い照明と足元の低い照明を組み合わせても面白い。並木が綺麗に見えるように。
- (座 長) 広場の管理システムを検討しておく必要がある。樹木の管理も市のどこの課になるのか分からないが、維持管理面からこのデザインが駄目になる事も将来的にあってはならない。ボランティア団体を取り込むという事も考えられる。
- (座 長) 次回検討会までに構造やコストのチェックを行い、詳細なディテールを進めて案を提示するスケジュールとしたい。

【事務局挨拶】

以上